

国指定特別天然記念物
田島ヶ原サクラソウ自生地
保存管理計画策定報告書

2014

さいたま市教育委員会

あいさつ

荒川河川敷に広がる田島ヶ原サクラソウ自生地は、古くから名勝地として知られていました。大正8年に国の天然記念物保護制度が発足した翌年、田島ヶ原サクラソウ自生地は、遺伝学的・生態学的価値の高さなどから天然記念物に指定され、さらに昭和27年には国の特別天然記念物に指定され、その保存のための取組が進められてまいりました。この貴重な田島ヶ原サクラソウ自生地を後世に伝えていくことは、今日の私たちの責務です。

しかし、近年、サクラソウの生育数が急激に減少するなど、田島ヶ原サクラソウ自生地は大きな危機に見舞われています。この危機を乗り越えるためには、現状を正確に把握するとともに、これまでの取組を点検・評価した上で、危機の原因や課題を解決するための方策を立てることが急務です。

こうした認識のもと、さいたま市教育委員会では、平成22年度より天然記念物緊急調査事業として、現状把握のための調査と、今後の保存管理の指針策定を進めてまいりました。本書は、その成果を報告するものです。田島ヶ原サクラソウ自生地の保護・活用においてはもちろんのこと、学校教育や生涯学習等においても活用いただければ幸いです。そして、本書を通じて、多くの方に田島ヶ原サクラソウ自生地の貴重な価値や現状を御理解いただくことを願っております。

最後になりましたが、保存管理計画策定に御尽力いただいた保存管理計画策定委員会佐々木会長をはじめとする策定委員各位、指導・助言を賜った文化庁・埼玉県教育委員会、参画いただいた関係機関、関係者の皆様に厚く御礼申し上げ、巻頭のあいさつといたします。

平成26年3月

さいたま市教育委員会

教育長 稲葉 康久

田島ヶ原サクラソウ自生地の 保存管理計画策定にあたって

田島ヶ原サクラソウ自生地は、その衰退が懸念されて久しく、衰退の原因についても多くの意見がだされてきた。荒川の洪水による冠水頻度の変化、自生地そのものの乾燥化、サクラソウについては訪花昆虫の不在や遺伝的情報の多様性の低下などである。これまでもその対策が検討されてきたものの、衰退の現状は残念ながら基本的に変わっていない。毎年測定しているサクラソウの個体数が、ここにきて急速な減少に転じている。問題はサクラソウだけではない。貴重な多くの湿地植物の動向も心配である。衰退の原因について、なによりも科学的な調査データが必要とされるが、これまでの多くの調査報告も十分なものとはいえない。サクラソウ自生地が国の天然記念物と指定された後も、時の世相や沿線の開発行為に影響されてきたし、単に、植生の自然遷移、時の流れだけが原因でもない。また、その時々関係者のご努力は認めながらも、サクラソウ自生地に隣接して整備された桜草公園が、他の都市公園となんら変わらない管理で今も進められていることにも驚きを禁じ得ない。

生態学では、一定の個体群の維持のためには周辺に多様な個体群存在の必要性、および周辺環境、緩衝帯の必要性がいわれ、状況に応じた順応的管理が当たり前となっている。

国制度の対象物としての文化財の中でも、現実には野外環境の中に存在するサクラソウ自生地の保存・管理のありようが、より特殊であってしかるべきである。サクラソウが埼玉県、さいたま市のシンボリック的存在であることの意味も大きい。古代の遺跡に例えれば、現物の朽ちた古代遺跡と、費用をかけて人口的に作られた綺麗なレプリカとは、その存在意義で比較のしようもない。自然の姿を存続させることが重要なのであり、今の私たちの使命でもある。

今回、各委員と関係機関の方々のご努力下、田島ヶ原サクラソウ自生地の保存管理計画の方向性がまとめられた。サクラソウの保存という視点だけでみれば、考えてみれば当たり前、当然のこと？で、高度で難しい技術は必要としていない。相互に情報を共有し、同じ認識でことを為すか、否かの問題である。「為せば成る、為さねば成らぬ何事も」上杉鷹山の言である。個別に進む関係機関の組織構造の中であって、さいたまのサクラソウを守るという、共通の認識一点で、事は成就される。

平成 26 年 3 月

田島ヶ原サクラソウ自生地
保存管理計画策定委員会

会 長 佐々木 寧

例 言

- 1 本書は、埼玉県さいたま市桜区大字西堀字南原 3137 番地他に所在する国指定特別天然記念物「田島ケ原サクラソウ自生地」の保存管理計画書である。
- 2 保存管理計画は、さいたま市教育委員会が平成 22～25 年度に設置した「国指定特別天然記念物田島ケ原サクラソウ自生地保存管理計画策定委員会」（佐々木 寧会長）の指導・助言を受けて策定した。
- 3 保存管理計画策定事業では、平成 22～25 年度に保存管理計画策定委員会を開催したほか、平成 23 年度に指定地の境界測量と境界杭設置、平成 24 年度に群落分布図の作成調査、平成 25 年度には土質調査等の調査を実施した。また、平成 25 年度に報告書（本書）を刊行した。なお、平成 22 年度は市単独事業として実施し、平成 23 年～25 年度は天然記念物緊急調査事業として国庫補助金の交付を受けて実施した。
- 4 上記の調査のうち、測量・杭打ち及び群落分布図作成は塩川設計測量株式会社に委託し、土質調査は株式会社協和地質コンサルタントに委託して実施した。
- 5 群落分布図作成調査及び土質調査については、調査結果の概要を付編 I に掲載した。また、群落分布図作成調査については、保存管理計画策定委員の磯田 洋二氏より、土質調査については、磯田 洋二氏及び同委員の久保 純子氏より、調査結果に関するコメントを頂戴し、各調査報告に付載した。
- 6 指定種別の表記は法の規定に従い表記した。即ち、史蹟名勝天然記念物保存法のもとでの指定種別を記す際には「天然記念物」、文化財保護法での指定種別は「(特別)天然記念物」とした。
- 7 本書に掲載した図の内図Ⅱ-5 (6 頁) は、国土地理院発行の「第一軍管地方二万分一迅速測図原版復刻版」の一部を、図Ⅲ-6 (16 頁) は、米軍撮影の空中写真の一部をそれぞれ複製したものである。
また、図Ⅲ-4 (14 頁)、図Ⅴ-3 (35 頁)、図Ⅴ-5 (40 頁)、図Ⅵ-2 (43 頁)、図Ⅵ-3 (44 頁) は、保存管理計画策定委員の磯田洋二氏の作成原図を基に作成した。
- 8 本書の写真図版に掲載した写真の内、図版 4 の写真 1 及び写真 2 は、埼玉県立浦和図書館の掲載許可及び画像データの提供を受けた。
- 9 本文における典拠の記載は、行末に（文献 1）のようにカッコ内に文献番号を示し、51 頁に番号順に掲げた。
- 10 本書の編集はさいたま市教育委員会生涯学習部文化財保護課文化財保護係が行った。

目 次

あいさつ

田島ヶ原サクラソウ自生地の保存管理計画策定にあたって

例 言

目 次

I	保存管理計画策定の目的と経過	1	付編I	調査報告	52
I-1	計画策定の目的	1	I-1	植物群落分布調査	52
I-2	計画策定の経過	2	I-2	土壌調査	54
II	「田島ヶ原サクラソウ自生地」の環境	4	付編II	調査データ	67
II-1	さいたま市の概要と指定地の位置	4	II-1	田島ヶ原サクラソウ自生地 植物目録	67
II-2	自然環境	4	II-2	さいたま市の気象	78
II-3	サクラソウ	8	付編III	保存管理計画策定委員会	80
III	「田島ヶ原サクラソウ自生地」の変遷	10	III-1	保存管理計画策定委員会設置要綱	80
III-1	指定に至る経緯	10	III-2	保存管理計画策定委員会名簿	81
III-2	サクラソウ自生地の公有化	13	付編IV	関係法規	82
III-3	指定後の経過	14	IV-1	史蹟名勝天然記念物保存法	82
IV	実態調査と保全の取組	20	IV-2	文化財保護法	82
IV-1	生物調査	20	IV-3	文化財保護法施行令	91
IV-2	保全のための調査	21	IV-4	特別史蹟名勝天然記念物及び史蹟 名勝天然記念物指定基準	92
IV-3	保全と管理の取組	26	IV-5	特別史蹟名勝天然記念物又は史蹟 名勝天然記念物の管理に関する届 出書等に関する規則	93
IV-4	啓発と活用	28	IV-6	特別史蹟名勝天然記念物又は史蹟 名勝天然記念物の復旧の届出に關 する規則	94
V	実態調査による現況と管理方法の評価	29	IV-7	特別史蹟名勝天然記念物又は史蹟 名勝天然記念物の現状変更等の許 可申請等に関する規則	95
V-1	サクラソウ自生地での 「火入れ」とその評価	29	付編V	資料	97
V-2	サクラソウ自生地内の生育植物	31	V-1	文化財指定	97
V-3	サクラソウの増殖実験	35	V-2	関連資料	98
V-4	周辺植栽植物と侵入植物	37	V-3	田島ヶ原サクラソウ自生地 関係文献目録	102
VI	「田島ヶ原サクラソウ自生地」 保存・管理の課題	41	V-4	田島ヶ原サクラソウ自生地年譜	111
VI-1	特別天然記念物としての価値	41			
VI-2	指定地の現状と課題	41			
VII	保存管理計画	45			
VII-1	保存管理の理念と方針	45			
VII-2	保存管理の方法	45			
VII-3	現状変更	50			
	引用・参考文献	51		写真図版	

挿図目次

図 I-1	荒川流域のサクラソウ自生地	1	の繁殖状況	36	
図 II-1	さいたま市の位置	4	図 V-5	自生地及び隣接地の樹木	40
図 II-2	さいたま市の行政区と指定地の位置	4	図 VI-1	サクラソウ個体数(ラメット数)の増減	42
図 II-3	さいたま市の 1977 年～2013 年の 年平均気温と年間降水量	5	図 VI-2	サクラソウ自生地の地下水位変動	43
図 II-4	さいたま市の地形	5	図 VI-3	自生地周辺の地表水の排水経路	44
図 II-5	明治 14 年頃の指定地周辺	6	図 VII-1	緩衝帯	47
図 III-1	指定当時の指定地周辺	10	図 VII-2	管理区分	48
図 III-2	指定範囲の変遷	11	図 VII-3	サクラソウ自生地保全のための体制	49
図 III-3	公有化の経過	13	付編		
図 III-4	耕作跡と荒木田土採取跡	14	図 1.1	調査位置図	54
図 III-5	指定地とその周辺	16	図 2.1	調査位置図(明治 39 年測量)	54
図 III-6	1947 年の指定地周辺	16	図 3.1	推定地質断面図	56
図 III-7	荒川第 1 調節池付近平面図	18	図 4.1	各層の土性三角図表	57
図 III-8	桜草公園	19	図 4.2	水分特性と植生の有効利用水分	57
図 IV-1	保護増殖実験調査検討委員会より 提案された全体計画図	25	図 4.3	Ac1 層と Ac2 層の保水性試験結果	58
図 IV-2	第一次指定地の区分と観察路	26	図 4.4	Ac3 層～As1 層の保水性試験結果	58
図 IV-3	第一次指定地給水設備と散水範囲	27	図 5.1	土壌分析結果(本調査)	59
図 IV-4	指定地内の工作物(1)	28	図 5.2	既存土壌分析結果	59
図 IV-5	指定地内の工作物(2)	28	図 6.1	7月の地下水位変動グラフ	60
図 V-1	火入れ時におけるオギ群落の気温・ 地温の変化	30	図 6.2	8月の地下水位変動グラフ	60
図 V-2	サクラソウ群落の分布	34	図 6.3	9月の地下水位変動グラフ	61
図 V-3	荒川彩湖公園に設置された補充地概念図	35	図 6.4	10月の地下水位変動グラフ	61
図 V-4	第二次指定地の実験区における移植恒体		図 6.5	11月の地下水位変動グラフ	61
			図 6.6	8月 10 日の地下水位変動グラフ	62
			図 6.7	9月 15 日の地下水位変動グラフ	62

表目次

表 II-1	さいたま市内の河川・低湿地、農用林・屋敷 林、照葉樹林に関連する天然記念物	7	「火入れ」の実施状況	29	
表 III-1	指定の土地	12	表 V-2	サクラソウ自生地の「火入れ」で 生じた灰の化学分析結果	30
表 III-2	サクラソウ自生地公有化の経過	13	表 V-3	「火入れ」面積 1 m ² あたりの灰に 含まれる三要素量	30
表 IV-1	中野治房の調査(1) 植物種組成及び地下水位調査	20	表 V-4	出現した植物の種類数	32
表 IV-2	中野治房の調査(2) 土壌成分含有量	20	表 V-5	各調査期間の植物の構成	32
表 IV-3	中野治房の調査(3) 恒存度の推移	21	表 V-6	2003 年～2007 年に新たに出現した 136 の植物の内訳	32
表 IV-4	中野治房の調査(4) 土壌の水素イオン濃度	21	表 V-7	指定地に生育する絶滅危惧植物	33
表 IV-5	指定地内の工作物	27	表 V-8	1963 年～2007 年に指定地に侵入し	
表 V-1	サクラソウ自生地における「刈払い」と				

	繁殖した外来植物	37	表V-10	サクラソウ自生地における在来植物の 間引き	39
表V-9	サクラソウ自生地における外来植物の 抜き取り	38	表VII-1	取扱区分	46

写真図版目次

図版 1	1 第一次指定地	7 散水用給水管埋設	
	2 第二次指定地	8 スプリンクラーによる散水	
図版 2	1 春（第一次指定地）	図版 5	1 火入れ（第一次指定地）
	2 春（第一次指定地）		2 火入れ後（第一次指定地）
	3 夏（第一次指定地）		3 火入れ後（第二次指定地）
	4 秋（第一次指定地）		4 サクラソウ生育状況調査
	5 冬（第一次指定地）		5 外来植物除去作業
	6 積雪（第一次指定地）	図版 6	1 第一次指定地A区東側
図版 3	1 第一次指定地のサクラソウ群落		2 第一次指定地A区と東側の河川跡
	2 第一次指定地のサクラソウ群落		3 第一次指定地E区東側の公園園路と鴨川
	3 第一次指定地中央観察路		4 桜草公園中央
	4 台風後の冠水		5 指定地北側の横堤
	5 第二次指定地		6 第一次指定地E区南の排水路と桜並木
	6 第二次指定地の削平跡		7 第一次指定地北側の公園駐車場
	7 補充地	図版 7	1 サクラソウ開花期の第一次指定地
	8 補充地のサクラソウ群落		2 開花期見学会
図版 4	1 大正9年（1929）頃		3 ボランティア団体「田島ヶ原サクラソウ自生地 を守る会」による案内・解説
	2 昭和9年（1934）頃		4 株数調査永久標の杭
	3 昭和30年代頃		5 指定地標杭
	4 昭和30年代頃		6 地下水位観測井戸
	5 昭和40年代頃のさくら草祭り		7 給水用井戸・ポンプ
	6 昭和49年（1974）9月 台風16号による冠水		